

神戸大学 ICT 戦略

平成 18 年 2 月 7 日制定

平成 24 年 5 月 8 日改定

平成 29 年 9 月 26 日改定

(背景及び目的)

神戸大学は、「学理と実際の調和」を理念とし、進取と自由の精神がみなぎる学府である。神戸大学のビジョンは、この伝統を発展させ、様々な連携・融合の力を最大限に発揮する卓越研究大学として世界最高水準の教育研究拠点を構築し、現代及び未来社会の課題を解決するための新たな価値の創造に挑戦し続けることである。具体的には、社会科学分野・理系分野双方に強みを有する伝統と特色を生かし、文系・理系という枠にとらわれない先端研究を推進し、他大学・研究機関とも連携して、新たな学術領域を開拓・展開する。同時に、学部と大学院のつながりを強化し、先端研究の臨場感のなかで学生が創造性と学識を深めることを重視する。また、海外中核大学と共同研究や連携教育の重層的な交流を図り、世界各地から優秀な人材が集まり、世界へ飛び出していくハブ・キャンパスとしての機能を飛躍的に高める。これらの教育研究を社会と協働して推進し、先端的技術の開発と社会実装の促進を通じて人類に貢献するとともに、地球的諸課題を解決するために先導的役割を担う人材を輩出する。以上の教育研究における様々な連携・融合を高い次元で同時に実現するために、個と組織の調和を図る環境整備と組織改革を行い、神戸大学全構成員の力を結集して学術の新境地を切り拓く。

神戸大学における ICT（情報通信技術）基盤は、上記のビジョンの実現と深化を支えるものであり、昨今のモバイルコンピューティング、クラウドコンピューティング、ソーシャルメディアサービスの普及等 ICT の発展といった環境変化に対応し、神戸大学の使命達成のため、情報基盤の整備及び戦略的な ICT の利活用の基本方針を ICT 戦略として定めてきた。

「神戸大学 ICT 戦略」は、平成 18 年 2 月に策定され、平成 24 年 5 月に改定された。今回、神戸大学をとりまく環境変化に対応して改定するものである。

(基本方針)

国際的高等教育機関としての責務を継続的に果たすため、ネットワークをはじめとした情報基盤、ならびにこれを効果的に利活用する組織的・人的基盤を確立する

ための基本方針を掲げる。

1. 国際基準の ICT 環境を持った大学

効率的で安全・確実な情報基盤の実現を目指し、教育・研究・業務における、国際基準の ICT プラットフォームを構築する。

- (1) ネットワーク基盤の整備・維持管理
- (2) ユビキタス環境の整備・維持管理
- (3) 認証基盤の整備・維持管理
- (4) セキュリティの確保・維持管理
- (5) 教育・研究・業務の基盤システム及びシステム間連携の整備・維持管理
- (6) 戦略的投資のための企画立案機能の整備
- (7) 電子的学術情報基盤の整備・維持管理
- (8) ICT 基盤を支える組織及び人材の確保
- (9) BYOD (Bring Your Own Device) への対応

2. ICT の本格的な活用による新たな大学経営モデルの創出

卓越した大学経営を実現するため、ICT を利活用した革新的取組及びそのためのマネジメント体制の構築を目指す。

- (1) 意思決定のための情報分析及び大学ポートレート機能の整備による大学経営の高度化
- (2) 戦略的 ICT 要員の人材育成・人員配置
- (3) 財政及び人的資源の制約の中で価値の高い人材育成（教育）と知の創出（研究）を継続できる大学経営モデルの開発
- (4) 経営戦略に重点を置いた新たな IR (Institutional Research) の構築による情報資源の集約

3. ICT 成熟度向上の推進

経営層を始め構成員全員が、ICT を積極的・戦略的に活用する機運及びその重要性についての認知度の向上を目指す。

- (1) 経営層主導の下での構成員全員による ICT 利活用の気風の醸成
- (2) 部門間連携による知識・認識の共有
- (3) 経営層及び利用者等構成員それぞれの立場に立った ICT スキルの向上

(行動計画)

業務等担当部門及び ICT 部門間での情報共有及び共通認識を図り，基本方針に基づく検討を行い，以下の「神戸大学 ICT 戦略行動計画」を樹立する。

- (1) 既 ICT 戦略の進捗状況を踏まえた検証を行う
- (2) ICT ネットワークのセキュリティを強化し，安全で安心なネットワーク環境を構築する
- (3) ICT 資産の取得状況等の調査による ICT 投資の見える化を図る
- (4) 各システム間連携の方策及び個別情報システムの現状・問題点の検証・将来展望を通じた情報システムの効率化を図る
- (5) 企画・運用・管理・危機管理等 ICT 化を支える組織の在り方について検討する
- (6) 専門職等 ICT 部門に必要とされる人材の適正配置，ICT に係る業務部門及び情報部門間の連携及び人材育成についての分析を行う
- (7) 社会的要請の変化，財政状況の変化，情報通信技術の発展等大学を取り巻く環境変化への課題等について検討する
- (8) ICT の利活用による革新的・先進的取組を推進する
- (9) 行動計画の施策毎に目標を設定し，定期的かつ循環的に点検・評価・改善を行うことにより，目標達成に繋げる

以 上